



早いものですね。日の過ぐるのは、今年もあと4日と残りのみとなりました。12月18日早くも大雪が降り雪が汗に汗したため今朝も又見事な雪景色となり慌てました。小波線も滝川の特産品辺りを見れば雪はじつりと無いのが8日とそうでしたか今朝はとうてい大鹿の雪が多...のか、今年も...と雪の原を食料を探しながら悠然と歩く河馬のにわたりを眺めながら考えます。花も無い右馬允の庭を歩くと近所のおじさんたちの作る南天。今朝は綿帽子をいいてその下は紅い実が鮮やかです。

12月に入り冬至までは一年中で一番くつろげる時のんびりと幸福な時を過ごします。朝の6時以外には真暗から朝寝坊もあまるし。(というより寒くて布団から出られない) 朝の充のお弁当を作らないといけないうち。6時30分には台所に立ちます。冬至の朝おぼろの汁を飲みながら明朝からは早く起きてちゃんとした生活を始め

るぞと決意。これから日々食が長くなっていくのだから目標の4時起床には1時間早く着きませんか何れ...と気がいたすは入っています。

私(重子)の母が亡くなった7年が過ぎこの暮には、お地へ行くというのでこの数日兄弟と片づけに通いました。おらくたの中に時々光るものあり懐かしくしほし会話に花が咲き楽しいものでした。父親が、自分の家と建てた人の子供を育て老いて亡くなっていった人の一生を、こういうものなんだ、とクルルに見つめる私。大切な誇りである家は代が終わればいとも簡単に壊れ何事もなかったかのようにただの大地に戻る。若い頃は100の出来事の中にどれほど喜びを宝に頑張って頑張って...子と母が成人しそれらの喜びの中で時と刻んでゆく。その横で年老いた者はどのように生きていくのか理想のたろうか。今の親子の喜びは何なんだろう。正介は又美と山歩きをするのが楽しいらしい。それと二人の息子たちと厨房に立ってお客様に喜ばせるおいしい料理をつくること。これはうまくすれば死ぬまで楽しめる。正介は心配がなそうだが...いこう考えないで全て神様におまわらします。新しい年へ参ります。来年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様どうぞ良い新年をお迎え下さい。